

< その他、取組に特徴のある事例 >

## 農道の改良による基盤整備と鳥獣害対策

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県松山市 小屋峠			
協定面積 18.9ha	田 (84%)	畑 (16%)	草地	採草放牧地
	水稻	野菜・柑橘		
交付金額 296万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員手当		3%
		農道水路管理費		14%
		鳥獣害対策		6%
景観活動費			17%	
その他			10%	
協定参加者	農業者 36人			開始：平成15年度

### 2. 取組に至る経緯

当集落は、水稻を中心とした水田地帯であるが、農業者の高齢化、担い手不足、野生鳥獣による農作物被害の増加など、農業生産活動の維持が困難になることが懸念されている。そこで、耕作放棄地の発生を防ぎ、担い手の育成や地域の活性化、持続可能な農業の振興を図るために本制度に取り組むこととした。

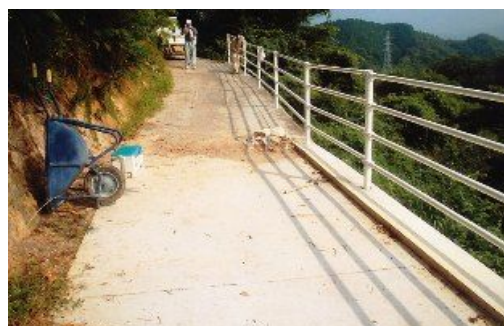
### 3. 取組の内容

近年、市内の農業地帯においては、イノシシやサル等の野生鳥獣による農作物被害が急増している。当集落においても例外ではなく、特に主軸である水稻の被害が年々増加しているため、交付金を活用し、集落で電気柵を整備した。電気柵の設置に際しては、隣接した農地の耕作者が協力し、できるだけ共同で設置することにより、より効果的・効率的な鳥獣被害防止対策に取り組んでいる。

また、高齢化が進む中、農道での車の運転による転落事故を防止するために、集落内の農道にガードパイプを設置する等して、集落内の整備に積極的に取り組んでいる。



【電気柵を設置】



【ガードパイプ整備】

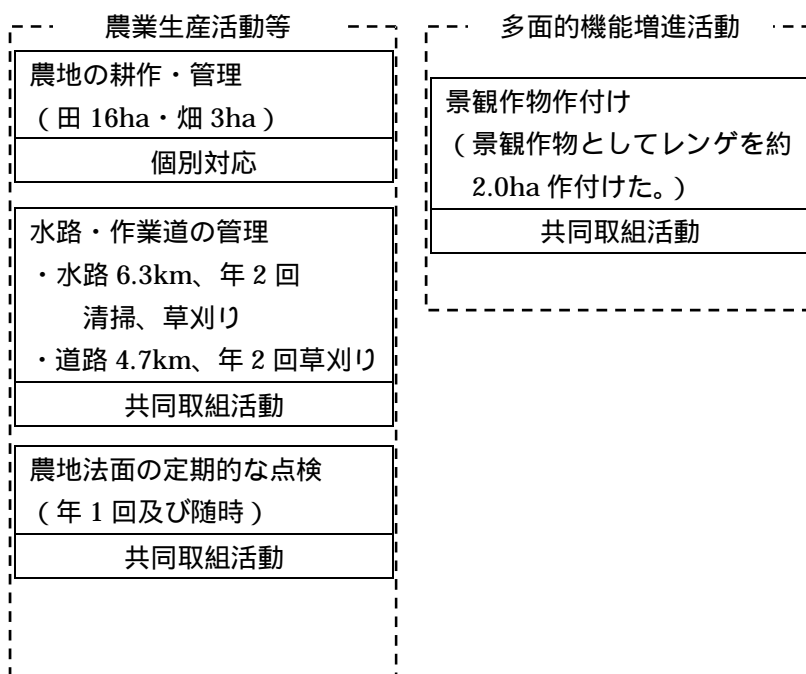
[ 集落の将来像 ]

中山間地域の農業の持続的発展、集落の維持と活性化を目指す。また、農村がもつ景観等の多面的機能を次の世代に継承し、農業生産活動が継続されていくよう推進していく。



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

生産条件の改善、多面的機能の増進、鳥獣害の防止対策、担い手の育成等を推進し、将来像実現に向けて取り組む。



#### 4 . 今後の課題等

集落の農業生産活動と多面的機能を維持し、集落の活性化を図るためには、担い手を確保・育成することが喫緊の課題である。鳥獣被害の増加や農産物の価格低迷など状況は厳しいが、今後も交付金を活用し、集落農業の持続的発展に努めていきたい。

[ 第 2 期対策の主な成果 ]

鳥獣害対策パンフレットを参加者へ配布し、鳥獣害対策への意識強化  
農道各所のガードパイプの設置による農道の安全改良  
緑肥作物（レンゲ）の作付けによる地力増進と景観維持